

● ブルーカードに関するご協力のお願い ●

【研究目的】

浪速区医師会では、平成21年11月より在宅患者さんや急変しやすい疾患を抱えている外来患者さんに対し、安心のための医療情報カードとして、「ブルーカード」を発行し、病状急変時の対応カードとして活用しております。ブルーカードの利用により、搬送先決定までの照会回数が劇的に改善され、搬送時間が約8分短縮するという結果を出し、ブルーカードの有用性を、医師を中心とした医療関係者が集まる機会に報告しております。

これらのデータを蓄積し研究することにより、「この地域では、どのような基礎疾患をもった患者さんが多く搬送されているのか」、「搬送に時間がかかった事例は、どういう状況で発生したのか」などを分析することができ、地域医療の改善につながると考えております。

今後は、ブルーカードを緊急時の対応カードとして利用させていただくだけでなく、地域医療の研究にも利用させていただきたくお願いする次第でございます。

【研究内容】

年齢、性別、病名、基礎疾患、薬剤情報、検査値など

【倫理的配慮】

- ・ ブルーカードデータの分析結果を学会や学術雑誌などに発表することがあります。その時には、必ず個人を特定できないようにし、個人情報を保護いたします。
- ・ ブルーカードの記載情報は厳重に管理いたします。
- ・ この研究に協力して頂くにあたり、一切の費用の負担はありません。
- ・ 本研究は、一般社団法人浪速区医師会の承認を受けて実施いたします。

上記の内容について、医師の説明を受け、十分に理解した上で、協力することに

同意します

同意しません

どちらかにチェックを入れてください

平成 年 月 日

※ 説明を受けた日付を必ず記入してください

氏名(自署)

代諾者(自署)

続柄()

自署できないので口頭で確認しました。

説明者氏名